

# 大学の世界展開力強化事業 H27取組概要 政策研究大学院大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA- I CAMPUS Asia Pilot Program))

北東アジア地域における政策研究コンソーシアム

【プログラムの目的・養成する人材像】

求められるグローバル人材像として科学的合理性に裏付けられた現実的課題解決能力を涵養したうえで、こうした判断基準と信頼を共有する者同士の強固な人的ネットワークの形成を促す。これにより、日中韓の社会的中核機関の組織的な政策立案・管理運営能力を高度化し、アジアと世界の知的ネットワークにおけるハブを形成する。

【構想の概要】

韓国KDISクールと清華大学公共管理学院との間で、大学院レベルのダブルディグリーや単位互換制度を利用した留学生交流を行う。本学を含めて3大学ともに、政府機関・民間企業の中核的なミッドキャリア職員を学生として受け入れており、彼らに対して社会科学を中心とした国際水準の公共政策教育を行う。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

(留学先の韓国KDISクールにて)

### ○ 長期の学生受入と派遣

KDISクールからダブルディグリー学生、清華大学から学期単位での特別科目等履修生を受け入れるとともに、本学よりKDISクールへの学期単位での留学を実現させた。受入・派遣は共に正式なAOプロセスを経た留学であり、正規授業を受けることで質の保証を確保した。特に本学からの派遣は、昨年度春学期の学期留学に続いての留学であり、大学の教育の一環としての大学間交流の枠組を本事業を通して形成することができた。



## ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

### ○ CAMPUS Asia Fortnight (サマープログラム) (8月)

KDISクールと清華大学の学生を受入れ、本学でサマープログラムを開催した。内容は講義の受講、日銀見学、本学開発政策プログラム共催サテライトトリップ&ワークショップ、文化体験など日中韓の学生交流。また一部本学の留学生にも開放し、大学全体での学生間ネットワーク構築を実現した。

### ○ KDISクールサマープログラム(8月)・日本人学生の長期留学(10月~12月)

講義受講、フィールドトリップなどを盛り込んだ約1カ月のプログラムに、本学学生3名を派遣した。また秋学期には、本学の学生1名を長期派遣した。

### ○ 日中韓合同セミナーの開催(12月)

中韓よりそれぞれ学生5名ずつと教員が本学に集まり、日中韓の学生・教員による合同セミナーを開催した。博士課程学生の研究プレゼンの他、事業の集大成としてこれまでの交流内容を振り返るとともに、学生同士によるラウンドテーブルディスカッションを行い、今後の日中韓の課題や我々の進むべき方向性について話し合った。

〈日中韓合同セミナーにて、真剣に話し合う日中韓の学生達〉

### ○ 清華大学短期研修(3月)

14名の学生を派遣。講義受講、開催中であつた全国人民代表大会委員でもある教授による講義の聴講、学生交流会、フィールドトリップなどを行った。

### ○ 事業終了後に向けた新たな交流協定の締結合意

補助金授業終了後の交流活動についての話し合いを進め、新たな交流協定締結に向けての合意を形成した。



## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ○ 日本人学生の派遣

KDISクールサマープログラム、KDISクール秋学期留学、清華大学短期研修

### ○ 外国人留学生の受入れ

ダブルディグリープログラム、学期単位での特別科目等履修生、CAMPUS Asia Fortnight (サマープログラム)、日中韓合同セミナー

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	C0, K0	C0, K23	C8, K12	C4, K12	C12, K14
中国(C)での受入	J7, K1	J11, K3	J8, K6	J13, K9	J14, K12
韓国(K)での受入	J9, C0	J20, C0	J16, C4	J30, C9	J4, C6

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ○ 多様なプログラムの提供、プログラムの周知強化

日中韓の学生の交流機会を増やすために、短期から長期まで様々な形態の交流機会を提供し、入学ガイダンス等で積極的な広報をコンソーシアムで行うことで、学生の派遣・留学を促進した。また日本人学生には入学時に英語科目の履修を学長より呼びかけたり、実際に留学した学生による報告会プレゼンの機会を設ける等、留学への意識を高めさせた。

## ■ 構想の実施に伴う大学の国際化の状況・情報の公開・成果の普及

### ○ 教育の一環としての海外留学の実現

本学は海外からの留学生が学生の2/3を占めるが、海外留学を志す日本人学生は少ない中、今年度本事業を通じて本学としては二人目となる、日本人学生の学期単位海外留学が大学の教育の一環として実現できたことは、日本人学生の送り出しという観点から、大学の国際化に大きく貢献した。

### ○ WEBサイト活用の強化

WEBサイトを通じて最新情報を日英で発信することで、日本人や留学生に本プログラムへの関心をもってもらった。